



2 病棟

の子どもたちの生活のひとコマ

山々の紅葉が楽しめた秋も終わり、すっかり寒くなってきましたね。さて2病棟では先日、『にじいろガーデン 秋～春の花壇活動』を行いました。季節を通り越して華やかな春を思い浮かべながら、入院中の子どもたちと一緒にチューリップの球根を植えました。

にじいろガーデンは、今から10年ほど前に入院していた子どもたちの「病棟の中ばかりで過ごすのは嫌だ！外に出て、体を動かしたい！」「自然と触れ合ってリフレッシュしたい！」という思いを院長先生へお手紙として届け、「花壇を作ってもいいよ！」というストーリーから始まった療育活動です。

花壇活動に初めて参加する子どもたちは、にじいろガーデンの生い立ちや球根の植え方を学び、協力して活動に取り掛かりました。土で手や服が汚れそうなことを気にしながら



ランターに土を入れる姿や、花壇の土を掘り起こして虫を見つけては嬉しそうにする姿、球根の向きや場所を考えながら「何色が咲くの？」「チューリップって白色もあったっけ？」と咲く様子を想像してワクワクしながら植える姿などが見られました。

「花壇活動は久しぶり」という子どもたちがほとんどで、治療の合間に自然と触れ合いリフレッシュしたり、同じ病棟で治療を頑張る仲間と一緒に取り組んだりするよい経験となりました。色とりどりのチューリップが咲き誇る春を楽しみにしながら、これからも受け継いでいきたい活動です。花壇はやまばとギャラリーから外へ出た多目的棟中庭にあるので、一度覗いてみてくださいね♪

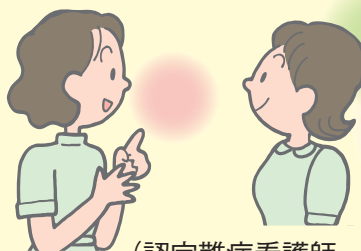
(保育士 森田 清香)

ご存知ですか？

難病学会認定難病看護師

難病学会認定難病看護師に求められる役割として、患者様の質の高い療養生活を目指し、療養生活の支援と相談・助言を行うこと、看護職員、関係職種の職員への指導・サポートが挙げられます。当院は筋・神経領域の難病拠点病院として専門性の高い看護を提供してきた経験があり、その中で難病看護師としてスタッフの育成を計画・運営することで、更なる看護の向上を目指して取り組みを行っています。また、自らが得た知識を伝達

しながらスタッフと共により良い看護を求めて検討していくことで、患者様には良い看護を提供し、スタッフにとってもやりがいを感じながら看護をしていくことにつながると信じて活動しています。



(認定難病看護師 鈴木 啓介)